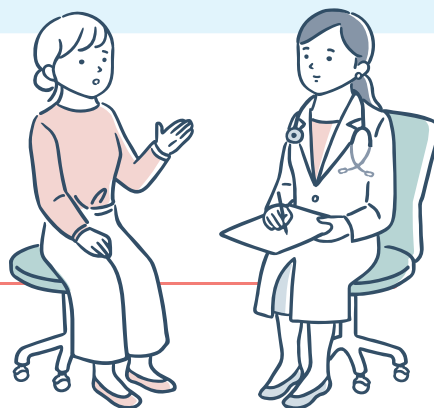




## プレコンセプションケア (妊娠前相談) 外来のご案内



「妊娠と薬に関する相談支援」で  
大阪府より費用が助成されるようになりました

コンセプションとは妊娠・受胎、つまり新しい命を授かることをいいます。プレコンセプションケアとは、妊娠前に女性とパートナーが将来の妊娠を考えて準備することです。妊娠前の健康状態を改善することで、より健やかな妊娠・出産につながるだけでなく、お子様の将来の病気を減らす可能性が知られています。

大阪母子医療センターが開設された 1981 年から、母性内科では「様々な内科疾患を持つ女性」の妊娠中の管理を中心に、実績を積んできました。妊娠前からご紹介いただき、治療・管理後により良いコンディションで妊娠・分娩された方々が既にたくさんおられます。しかし、妊娠前管理が十分でない状態での妊娠や、健診・人間ドックなどで異常が指摘されていたのに放置していた、全く検査を受けたことがなく妊娠してから病気が見つかった、など妊娠前からの管理ができていれば…と悔やまれるケースも多く経験してきました。

そこで、持病のある方の妊娠前からの相談のための場として、2023 年 6 月に「**プレコンセプションケア外来**」を開設しました。現在治療中の方の将来の妊娠・出産についてのご相談が中心ですが、以前にご病気をしたことがある方、健康診断などで要精査・要治療と言われたことがある方のご相談も受け付けています。特に、糖尿病をはじめとした耐糖能異常や肥満、膠原病については以前から当科で妊娠前からの相談に力を入れてきた分野です。

2005年から、国立成育医療研究センターの「妊娠と薬情報センター」と連携した妊娠と薬情報センターの拠点病院として、「**妊娠と薬外来**」を設置し、使用している（使用していた）お薬に関する相談を受け付けています。さらに、2024年 10 月から大阪府の性と健康の相談センター事業の一つである「**基礎疾患のある妊産婦等への妊娠と薬に関する相談支援**」の委託を受け、「妊娠と薬外来」での初回の相談費用の一部が助成されることになり、相談しやすくなりました。詳細は当センター HP をご覧ください。



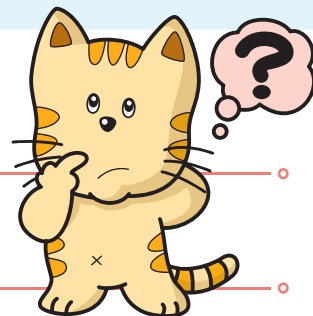
また、妊娠前に禁煙を希望される女性・パートナーの方は「**禁煙外来**」にご相談ください。これまでに流産・死産・早産などを経験された方の妊娠相談は産科「**流早産予防外来**」を受診していただけますのでご相談ください。（※当センターでは不妊治療は行っていません）

（母性内科 和栗 雅子）

## 大阪母子医療センターの得意な診療

はつ いく せい こ かん せつ けい せい ふ ぜん

### 发育性股関節形成不全



发育性股関節形成不全は、体質（遺伝的要因）やお母さんのおなかの中の胎位などに加え、生まれてからの生活様式などによって起こる股関節脱臼<sup>だつきゅう</sup>やさまざまな程度の股関節发育不全の総称です。特に股関節脱臼は治療をしなければ、機能障害や疼痛<sup>とうつう</sup>を引き起こしかねないため、その予防と早期発見・早期治療が必要です。

#### 股関節脱臼かどうかを見つけるには？

医療者向けの乳児股関節健診チェック項目が役に立ちます。それは、以下の5項目です。

- 1 股の開きに左右差がある、開きが悪い
- 2 太ももの皮膚の溝の数に左右差がある
- 3 家族や親戚に股関節疾患がある
- 4 女の子であること
- 5 骨盤位（逆子であること）

このうち、2項目以上が当てはまる場合は、4か月健診時に整形外科医に紹介されます。普段から接している保護者でも5項目はチェックできるため、自分たちで確認して、早めの整形外科受診をお勧めします。早期発見すれば早期治療につながるので、ぜひ活用してみてください。

#### 股関節脱臼が見つかったときには？

股関節脱臼が見つければ、治療が必要です。治療は、装具を使用したり、入院して足を引っ張ることで（牽引療法<sup>けんいんりょう</sup>といいます）脱臼を元に戻します（整復<sup>せいふく</sup>といいます）。ただし、脱臼が整復されたら治療が終わりではありません。成長終了まで、しっかりと股関節が成長してくれることを確認するために経過観察が必要です。追加で治療が必要となることもあります。

#### 股関節脱臼を防ぐには？

赤ちゃんが股関節脱臼にならないようにするには、生まれてからの赤ちゃんの扱い方が重要となってきます。日本整形外科学会・日本小児整形外科学会から、赤ちゃんの両脚はM字型を保つことが望ましいこと（脚まわりが緩やかな服装や、M字型をとれるような抱っこひもを使うこと、スリング抱っこひもは適さない）、抱っこは、両脚がM字型になるようなコアラ抱っこ（図1）が推奨されています。

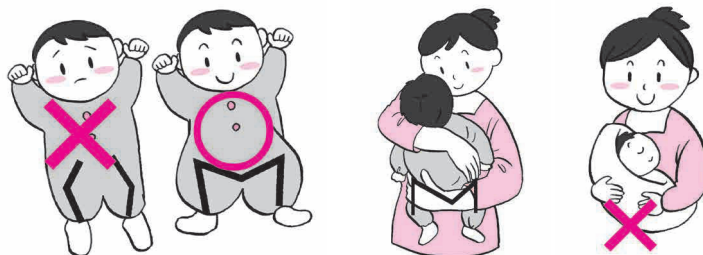


図1 赤ちゃんの両脚のM字型とコアラ抱っこ（整形外科 樋口 周久）

## 新任部長のご紹介

新生児科 望月成隆



和田和子主任部長（現副院長）の後任として新生児科の部長に就任いたしました。書面で恐縮ですが、ご挨拶申し上げます。

新生児科は主に新生児集中治療室（NICU）での診療、出生直後から治療を要する新生児の蘇生処置、他院で生まれた重症新生児のドクターカー搬送など、急性期の診療から、母性棟や NICU を退院したお子さんの外来フォローといった慢性期・安定期の診療まで行っています。新生児科医師は過酷な勤務が続くこともありますが、看護スタッフや他科の先生と連携し、新生児科の同僚と助け合いながら、そして赤ちゃんにも癒されながら、日々みんなで奮闘しております。私自身は当センターに入職して20年以上が経ち、これまで多くの赤ちゃんにご家族に本当にいろんなことを教えていただきました。これまで皆さんに教えていただいたことを活かしながら粉骨砕身でがんばっていきますので、新生児科一同、変わらぬご支援をお願いいたします。これからは部長という立場にはなりますが赤ちゃんたちに対する気持ちは全然変わっていません。今まで通り、気軽にお声掛けいただけましたら嬉しいです。どうぞよろしくお願いいたします。

30th Anniversary

## ボランティア活動

### 30 周年 記念イベントを開催しました

11月11日から5日間、ぼらんていあはうすで、ボランティア活動30周年記念イベントを開催しました。1994年に始まった当センターでのボランティア活動のあゆみや、現在の活動紹介、ボランティアが作成した電気仕掛けのゲームやクラフトコーナーなどを設け、ボランティアと共に楽しいひと時を過ごしていただきました。毎日40人を超える患者さんやご家族が参加してくださり、モコニャンがお祝いに駆けつけた時間には、一緒に写真を撮りたい子どもたちの行列ができるほどでした。

当センターでのボランティア活動は、30年前に小さなグループの集まりから始まり、年月を経て、現在130人のボランティアが患者さんやご家族のためにと、日々、さまざまな活動を行っています。今後もボランティアを見かけましたら、お気軽にお声がけください。



みんなありがとう！

## お子さんへの新しいワクチンが開発されています

予防接種はお子さんを感染症から守るために重要です。最近、小児に対する新しいワクチンがいくつか開始されたため、3つのワクチンを紹介します。これらのワクチンを使用するかどうかは担当医とご相談ください。



### 15 価、20 価小児用肺炎球菌ワクチン

肺炎球菌には90種類以上の血清型があり、今までのワクチンはこの型のうち13種類をカバーしていましたが、15種類をカバーできる15価小児用肺炎球菌ワクチンが2024年4月から定期接種になり、2024年10月から20種類をカバーできる20価小児用肺炎球菌ワクチンも定期接種になりました。現在は15価、20価のどちらも用いられています。

### 五種混合ワクチン

今まではヒブ(インフルエンザ菌b型)ワクチンを4回、四種(ジフテリア、破傷風、百日咳、ポリオ)混合ワクチンを4回として計8回接種していましたが、両者が一つになった五種混合ワクチンが定期接種となったため、4回の接種で完了できることになりました。

### 経鼻弱毒生インフルエンザワクチン

2歳～19歳未満が対象で、鼻から注入するので注射の痛みがありません。生ワクチンのため免疫力が弱いお子さんには使用できず、また、喘息発作を起こす可能性があるなど注意点もあります。従来の注射ワクチンと同様に任意接種のため費用が発生します。

(周産期・小児感染症科 谷口 公啓)



RECIPE

医師・栄養士監修



## シュリンプチャウダー

材料(2人分) 1人あたり: エネルギー 118kcal

|         |              |           |             |
|---------|--------------|-----------|-------------|
| ◆ たまねぎ  | 55g          | ◆ コンソメ    | 小さじ1弱(2.6g) |
| ◆ にんじん  | 35g          | ◆ 水       | 200ml       |
| ◆ じゃがいも | 40g          | ◆ えび(むき身) | 80g         |
| ◆ バター   | 小さじ1(4g)     | ◆ 牛乳      | 80ml        |
| ◆ 小麦粉   | 小さじ1と1/3(4g) | ◆ パセリ     | 少々          |

### 作り方

- 1 下ごしらえ** たまねぎは薄切りにし、にんじんとじゃがいもは1cm角に切る。
- 2 煮る** 鍋にバターを溶かし、たまねぎを炒める。たまねぎが透き通るくらいまで炒めたら、にんじんとじゃがいもを加えて軽く炒める。小麦粉を加えて炒め、粉っぽさがなくなったらコンソメと水を加える。野菜が柔らかくなったらえびを加えて火を通し、牛乳を加えてひと煮たちさせる。

point

小麦粉は具と炒めてなじませることでダマになりにくくなります☆

- 3 盛り付ける** 器に盛り、刻んだパセリを散らす。



大阪母子医療センターの食育レシピ  
「こどもの心と体の成長・発達にいい食事Ⅲ  
学童期・思春期」一部改変 P.46 に掲載